

## 「高岡を前へ！まちづくりミーティング」意見交換要旨【高岡市ふれあい福祉センター】

### 質問

市役所の窓口でたらいまわしにされることが多い。行政を担うプロとして即座に回答してほしい。

### 回答

職員はプロではないのかというご指摘はごもっともである。一方で、市役所の業務は多岐にわたるためそれぞれの業務に担当があり、その担当に引継ぎを行った方が適切な対応ができる場合もある。市民の方のお話をしっかりお聞きし、市民の皆様の期待に応えられるような対応になるよう取り組んでまいりたい。

市役所に来られるすべての方々が何らかの課題や用事を持ってお越しにいただいている。最初に行かれる課（窓口）が課題に的確に応えることが望ましい。そのためにも利用者の方がその目的の窓口で容易にたどり着けるような方法、例えば、案内看板を見直すなどといったことが必要であり、できるだけ早期に目に見える改善策を図り、実施したい。

### 質問

市民協働型地域交通システムの実証運行を行っているが、その結果が市民に報告されていないのではないか。やっている事が分からないため、実験にも参加のしようがない。

### 回答

野村地区については、地域の方と相談しながら、6月から取り組まれることとなっている。また、守山地区については、校区の志貴野中学校の生徒たちが冬期の降雪時に登校が困難な時期があるので、地域の方々が子どもたちのためにと取り組んでいただいている。実績等を見ながら地域としてこれからも続けたいという相談を受けているところである。いずれも市民の方々と協働して取り組みながら一つ一つ実証し、どういった形で浸透させていけばいいのか、地域の方々と現在試行錯誤している。

各地域の取り組みを他の地域にもお伝えしていくことも大事だと考えている。広報紙「市民と市政」だけではなく、様々な手法を検討して、皆様方のところにしっかりと情報をお届けできる手段を考えていきたい。

### 質問

40億円の構造的な収支不足を1年前倒しで解消し目標を達成されたことを喜ばしく思っているが、高岡市の財政や、資産がどうなっているのかを明確に示した上での現状把握が必要だと考えている。第4次基本計画を進めるためにも、財政の現状、収入と支出のバランスを見極めてほしい。高岡市の財政の状態をこれからも市民に分かりやすい形でご提

示いただきたい。

回答

まずは分かりやすく財政の現状をお示ししていくことが大切だと思っている。広報紙「市民と市政」にも工夫して記事を出しているが、それでも分かりづらい部分があるということをご指摘いただいたものと考えている。税金の使い道やその結果を、市民の皆さんにこそ分かっていただける対応をしていかなければならないと思っている。より分かりやすくなるようにしっかりと検討を進めてまいる。

質問

2017年11月頃に40億円の緊急プログラムの話があり、その時とある市会議員が「寝耳に水だ」という発言をした。議会と市長の関係とはどのようなになっているのか。

市役所の移転についても、今ある施設を再利用するなどしないと財政がひっ迫するのではないかと懸念している。しっかりと考えていただきたい。

回答

市議会議員時代に財政健全化緊急プログラムが始まり、自分が住んでいる地区の地域のみなさんには、市政報告会等の場面において財政健全化緊急プログラムについて説明させていただいた。ご理解をいただきながら進めてきた大きな大きな改革であったと考えており、しっかりと未来につなげていかなければならないと考えている。今年度中に新たな行財政改革の指針をお示ししようと考えており、その際には、市民の皆様に分かりやすい形でお示ししたい。

市庁舎の移転については現在様々な可能性を検討している。市が持っている公共施設の新たな活用方法についても検討しているところである。しっかりと市民の利便性や新しい時代のニーズに合った形を、様々な角度から検討する。もちろん慎重に判断し、未来にツケを回すようなことは絶対にしない。

質問

高岡で全国的に通用するコンテンツといえばドラえもんや高峰譲吉だと考えている。こんなに世界的なコンテンツをどうしてもっとPRとして使わないのか。

回答

ドラえもんなどの藤子・F・不二雄先生の作品に登場するキャラクターの活用については、藤子プロと様々な協議をしながら進めなければならない。藤子プロからは、F先生の出生地である高岡を大切に思っているから、こちらから前向きな提案をどんどんしていきたいと考えている。高峰譲吉先生に関しては、高岡が誇る偉人である。よりたくさんの方、特に子供たちにも高峰譲吉先生の素晴らしさを知ってもらい、子供たちの未来につながるような施策を展開してまいりたい。

## 質問

新幹線について、今かがやきは一日8本走っているが、全て高岡を通過している。臨時で一日数本停まるよう交渉・努力すべき。

高岡ではかがやきの定期便化を目指す市民団体・市民会議なども活動している。JRとは真摯に向き合いながらもお願いすべきこと、市民が望むことは強い心をもって交渉をしていく。

## 質問

先月車に乗って木津方面へ行ったときに、南星交番を初めて見た。県警察の問題かもしれないが、清水町にあった交番がなくなって、そこからかなり距離が離れたところに南星交番が新しくでき、博労地区の一部が管轄になるときいた。

## 回答

博労地区の交番については、市民の安全と安心を考えるうえで重要な拠点であると考えており、県において慎重に検討していると伺っている。一方で、現在博労地区の一部は南星交番の管轄であり、管轄が広がったため、南星交番では警察職員の数を増員するなどして対応している。地域の方々におかれては、不安も多いとは思いますが、博労地区の交番の一日も早い完成を目指して、しっかりと県にお願いしていかねばならないと考えている。

## 質問

角田市長の104の具体策と、市で作成した総合計画第4次基本計画の繋がりが見えない。104の具体策がどのように計画に反映されているのか。

## 回答

市長就任の際、現在高岡市が進めている施策や取り組み、今後進めていこうとしているものについて、104策との整合を取った場合の整理を行い、「高岡を前へ進める具体策のロードマップ」として公表させていただいた。その中では、現在取り組んでおり、更に充実を図っていく施策が80、また新たに検討・実施可能なものなどについて取り組みを開始する施策が70、合わせて150の施策に再編をして、市の施策として示したところ。総合計画第4次基本計画についてはこの150の施策を計画の中に盛り込んでいる。

## 質問

ふれあい福祉センターのお風呂の利用が停止した。考えられる理由はいくつかあるが、大きな入浴場に安く入れて、利用することを楽しみにしている人がたくさんおられた。高齢者がいきいきと自立して豊かな環境のもとで生活するには、こういう場が必要だと考える。入浴施設が赤字だというのは理解しているが、なんとか復活してほしい。できなけれ

ばそれに代わる高齢者がお風呂を利用できるような施設を整備してほしい。

回答

人口が減っていく中で、市の既存施設すべてを残していくことは難しいという側面がある。市としてどういった機能を確保していくかを検討する際には、利用状況や老朽化の程度、維持管理に要している費用、加えて民間の方が事業として行っておられる機能などを勘案し、施設の在り方を見直しているところである。行政と競合する事業分野で生計を立てている事業者の方々もいらっしゃる。銭湯がどんどんなくなっている現状の中で、市としてそういった機能を今後、確保していくことの是非について検討した結果、民間の事業者の方で担っていただくものとして整理した。これからは行政がやってきたことを民間の皆さんのビジネスの力で解決していく、そういった地域問題の解決の仕方もあるのではないかと考えている。

民間の方々を応援しつつ、民間の皆さんができないことを行政が行っていく。あるいは、行政には出来ること・出来ないことがあるが、民間の皆さんと組めば出来ることに変わることもあると私は思っている。市役所の中でも出来る・出来ないではなく、どうすれば出来るかを考えようと呼びかけている。

以上